

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0126400101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	月 4, 月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古江 佳織

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 「看護」に興味を持ち、主体的な学習を継続できるようになるための教授－学習過程を考える。 2. 看護者・教育者としての資質を高めるために必要な自己の課題を明らかにする。 3. 「こころ」豊かな人間性を養い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を身につける。
履修上の注意事項	講義のほかにそれぞれが課題を設定し取り組む課題学習、グループ学習・発表を行い（アクティブラーニング）、教育者として必要な基礎的能力について学ぶ。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、事前・事後学習を含めた自己の学習計画を考える。事前課題は授業内容の予習でもあり、事前課題で取り組んだ内容を基に意見交換、発表をする。事後課題は授業で学習した内容をレポートにまとめる。事前・事後課題に要する時間は各2時間である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト・レポートと提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	『看護教育学 第7班』杉森みどり・舟島なをみ、医学書院、2021. 『高等学校学習指導要領解説看護編』、文部科学省、東京法令出版、2019. 『ヒューマンケア入門』、柴田恵子、幻冬舎、2022.
参考文献	随時紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	古江：看護師として病院に勤務、柴田：養護教諭として小中高校に勤務

授業計画

授業計画
オリエンテーション時に授業計画について説明するので、各自が学習計画を立案すること。 事前事後学修に要する時間は各2コマである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護教育に関する知識の確認（柴田）	既習内容から看護教育について復習する	看護学概論の教科書を持参する
2	看護教育制度の特徴（柴田）	事前学習は看護学概論の教科書の該当する内容を事前に読み、事後学習では看護教育制度の特徴について文章化し説明する。	
3	看護教育制度の変遷（柴田）	事前課題では教育制度について調べる。事後課題では制度に対応して年代を追った変遷について確認する。	
4	看護基礎教育課程とその変遷（柴田）	看護基礎教育課程について事前に調べる。事後課題では制度との関連性をまとめる。	
5	高等学校-看護-に関する基礎知識：教授・学習活動（柴田）	事前学習は高等学校における職業教育について調べる。事後学習は高校の看護科について授業内容を基にまとめる。	
6	高等学校-看護-の指導におけるICTの活用（柴田）	事前学習では教育におけるICTの必要性について調べる。事後活動では看護教育におけるICTの活用場面についてまとめる。	
7	高等学校-看護-の技術指導におけるICTの活用（柴田）	事前学習では看護技術の一つを選び、技術指導について考えレポートを作成する。事後活動では教材作成の方法をまとめる。	グループ学習、発表

授業計画

オリエンテーション時に授業計画について説明するので、各自が学習計画を立案すること。
事前事後学修に要する時間は各2コマである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	小テスト1、課題学習の報告（柴田）	事前課題としては実習における教材化について調べる。事後課題は教材化における注意点をまとめる。	発表
9	授業展開の基礎（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
10	授業展開の実際（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
11	授業展開と授業評価（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
12	教育実習の実際（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
13	学習指導要領の理解（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
14	学習指導要領：高校看護の理解（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
15	小テスト2、グループ討議：職業教育-看護-について（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	グループ学習、発表

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0126400201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	教壇実習で必要となる授業展開の実際について、模擬授業を実施することで習得する。講義、演習、実習で必要となる授業展開を理解する。看護科教育法の学習を通して、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけた教員を目指すための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護科教育法 を履修済みであること。看護科教育法 の履修を基にした授業展開を行う。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習、準備は各自が行う。事前課題は授業内容に関する予習でもあり、授業では事前課題の内容を基に意見交換、発表を行う（アクティブラーニング）。事後課題は授業内容を基にし、レポートを作成することでまとめる。事前・事後課題に要する時間は各2時間である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度（レポート提出状況、レポート内容、グループ討議時の発言状況）：40%。フィードバックとしては事前課題については授業で内容を確認し、事後課題については後日の授業内容で取り上げる。
テキスト	第1学期に購入したテキストを引き続き使用する。
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古江：看護師として病院に勤務。柴田：養護教諭として小中高校に勤務。

授業計画

授業計画	
第1回の講義時のオリエンテーションで説明するので、各自が学習計画を立案すること。 事前事後学修に要する時間は各2コマである。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、夏季休業中の課題を発表する（柴田）	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習の詳細な内容についてはキャンパススクエアで確認する。	グループ学習、発表
2	指導案の構成要素（柴田）	事前学習は指導案の構成要素を調べる。事後学習では構成要素の記述方法についてまとめる。	
3	看護臨床実習指導の基礎知識（柴田）	事前学習は臨床看護実習について教科書を読む。事後学習は臨床実習における指導の注意点を記録する。	
4	看護臨床実習指導：週案、日案の確認（柴田）	事前学習は実習における指導計画について調べる。事後学習は週案・日案の特徴をまとめる。	グループ学習、発表
5	模擬授業の知識、技術の確認（柴田）	事前学習は模擬授業指導案を作成する。事後学習は作成した指導案の修正を行う。	
6	模擬授業の実際（古江）	事前学習は模擬授業案を基に授業展開をイメージし課題を明らかにする。事後学習は実施した模擬授業についての気づきをまとめる。	

授業計画

第1回の講義時のオリエンテーションで説明するので、各自が学習計画を立案すること。
事前事後学修に要する時間は各2コマである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	模擬授業の評価（古江）	事前学習は模擬授業の評価について調べる。事後学習は模擬授業の評価における気づきをまとめる。	
8	小テスト1、教育実習の報告会から教壇実習について考える（柴田）	事前学習では教壇実習に向けての自己の課題を明らかにする	グループ学習、発表
9	グループ討議：模擬授業（柴田）	事前学習は模擬授業の実施について意見をまとめる。事後学習はグループ討議での気づきをまとめる。	
10	指導案の評価と修正（柴田）	事前学習は模擬授業指導案の作成である。事後学習は作成した模擬授業について自身の評価を行い修正する。	
11	指導案作成のまとめ（柴田）	事後学習は指導案作成から実施・評価の一連の流れにおいて、自身の課題になったことをまとめる。	
12	看護臨床実習の指導計画案作成（柴田）	事前学習は臨床看護実習の指導案を作成する。事後学習は看護臨床実習指導案作成時の注意点を整理する。	グループ学習、発表
13	ICTを活用した指導の実際（柴田）	事前学習は看護臨床実習におけるICT活用について調べる。	発表
14	グループ討議：看護基礎教育におけるICT活用（柴田）	事後学習はICT活用の利点と課題をまとめる。	
15	小テスト2、グループ発表：高等教育における看護教育（柴田）	高等学校の看護教育について考え、高校教員としての自身の課題を見出す。	発表